

N I C H I N A N

AGRICULTURE START GUIDE

宮崎県日南市

農業を

新しく始めよう。



新規就農を全力サポート!

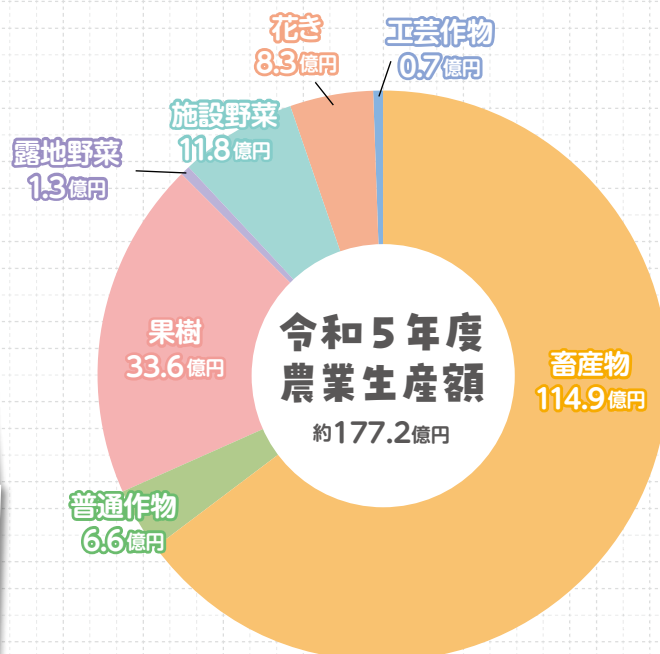
- ◆日南市について
- ◆就農を考えているみなさんへ
- ◆就農までの流れ
- ◆日南市の主な作物例
- ◆新規就農者支援体制と支援の流れ



日南市の魅力

日南市は「海幸・山幸・人幸」をスローガンに掲げ、地域の自然や文化を守りながら自然の恵みと人々の営みが調和した魅力的な地域として発展を続けています。

農業と観光の両面で豊かな資源を持つ日南市は、訪れる人々に多彩な体験と思い出を提供する魅力的なまちです。



日南市の農畜産物

冬季の温暖な気候（年平均 18.8℃）と豊かな日照量に恵まれた日南市では、多彩な農産物が育っています。

超早場米や多様なかんきつ類はもちろん、ピーマンやスイートピーの栽培も盛んです。特に、スイートピーの生産量は日本一を誇っています。さらに、畜産業も農業産出額の約半分を占める重要な柱となっています。

大消費地から離れていることや台風の影響などにも負けず、これらの恵まれた自然条件を最大限に活かした農業を展開しています。



完熟マンゴー



スイートピー



超早場米



温州みかん

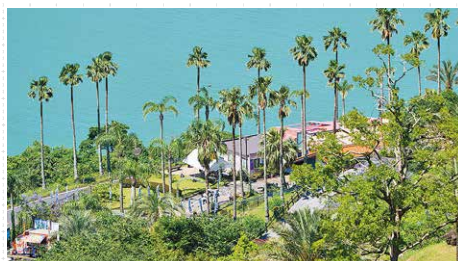


ピーマン



みやざき地頭鶏

道の駅 日南市には、地域の特産品を楽しめる「道の駅」があります。



道の駅なんごう

地元の新鮮な農産物や加工品を取り扱った物産館があり、美味しいカレーやお土産の柑橘類も豊富に揃っています。美しい海岸線と豊かな自然に囲まれた絶好のロケーションにあり、訪れる人々に素晴らしい景色を提供しています。

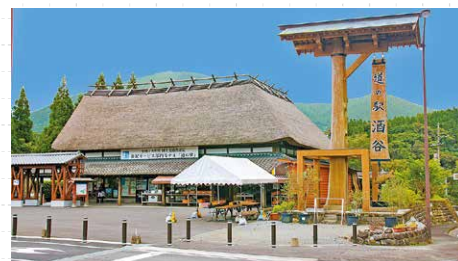
特産品である▶
完熟マンゴー



道の駅またごう

直売コーナーでは、地元北郷町や日南市の農水畜産物や加工品が並び、特産品やお土産、弁当・スイーツなど多岐にわたる商品が揃っています。

子どもたちが安全・安心に楽しめるインクルーシブな遊具で、買い物や食事だけでなく、遊びの時間も楽しむことができます。



道の駅酒谷

「村おこしの拠点」としての役割も果たしています。特産物も種類や量も多く、特に棚田米はブランド化しております。

また、地域のイベントや特産品の紹介など、地元の文化を体験できる機会も提供されています。

特に人気商品草だんご：酒谷名物のよもぎを使った草だんごは、もちもちとした食感と香りが特徴で、多くの訪問者に愛されています。



日南市で 就農を考えている皆さんへ

農業を始める前に、もう一度考え、ご家族で話し合しましょう。

check1 農業は甘くない

- ☐ 農業は生計が成り立つまでに、時には数年かかることがあります。その間の生活費の確保が必要です。
- ☐ 農業は様々な技術を必要とする職業です。また、時には長時間の作業が必要になるなど、体力と気力を必要とする職業です。
- ☐ 農業に取り組むためには、家族の同意と協力が必要です。
- ☐ 無農薬栽培や有機農業は高度な知識とその土地ごとの農業経験が求められ、周囲の農家の同意も必要です。
- ☐ 環境の影響を受けやすく、気候変動や災害などリスクもともないます。

check2 経営者としての自覚（自営就農の場合）

- ☐ 新たに農業を始めることは、起業（新しくビジネスを立ち上げること）と同じです。初期投資が必要で、既存の生産基盤のある親元就農より難易度が高まります。
- ☐ 資本（機械、施設等）・労力（雇用）・販路の確保、それらの管理（マネジメント）などの経営力が必要で、経営者としての責務が発生します。
- ☐ 各種支援の補助金は国民・市民の貴重な税金でなされるものです。活用される場合は、みなさんの支援で農業に挑んでいることを自覚し、事業目的に合致しない場合や、必要な事務を怠る場合は補助金返還もありうることを認識してください。

check3 日南市の暮らしは 自然と地域住民との中で成り立つ

- ☐ 都市部のような便利さはありませんが、豊かな自然、静かな住環境があります。
- ☐ 地域の伝統行事や文化があり住民の助け合いで成立します。地域活動やコミュニケーションで地域に馴染む必要があります。
- ☐ 自然災害との共生を意識して就業する必要があります。

就農までの流れ

日南市は「**本気で農業を始めたい方**」を応援し、就農にあたっての課題解決のため、日南市で

STEP 1 相談・体験

- ・就農相談を行い、農業に関する情報収集を行います。
- ・市や県、JAなどの相談窓口で、直接又は電話で相談が可能です。
- ・農業体験を通じて実際の農業を体験し、農業が自分に合っているかを確認します。
- ・農業体験を近所の農家での作業などで行います。

■お試し就農^{*1}

■品目の選定

■研修地の選定

- 研修が必要な場合は研修開始前、少なくとも半年から1年間の就農相談が必要です。



STEP 3 技術研修

- ・農業技術や経営管理知識の習得
- ・研修は、みやざき農業実践学院などで行います。
- ・就農後、5年間の具体的な研修を行います。
- ・研修と並行して、就農地での作業を行います。

STEP 2 就農を決意

- ・農業体験を経て、農業のリスクや厳しさを理解し、家族の理解と協力を得た上で、就農を決意します。
- ・農業経営者としての自立を目指し、具体的な農業経営のビジョンを明確にします。



STEP 4 就農後の生活

「認定新規就農者」として、各種支援を受け、就農後5年間の生活を送ります。市役所での計画（労働時間）などがあります。

各種制度・助成金

種類	事業・制度名	内容
体験	お試し就農 ^{*1}	就農する前に、試験的に農業を体験することができるもの
農地・施設・農業機械	新規就農者初期経営安定支援事業 ^{*2}	農地、施設、農業機械の賃借料を一部助成
研修	就農準備資金(新規就農者育成総合対策 ^{*3})	就農前の研修者を後押しする資金を交付
資金	経営開始資金(新規就農者育成総合対策 ^{*4})	就農直後の経営確立を支援する資金。就農開始から一定期間、国による補助を受けることができます。
機器導入等	経営発展支援事業(新規就農者育成総合対策 ^{*5})	新規就農者に対しての経営発展のために、機械・施設等の導入を支援する資金。
融資	青年等就農資金 ^{*6}	就農に必要な施設・機械の購入等に必要資金を無利子で借りる

援します。
は関係機関で総合的に応援します。

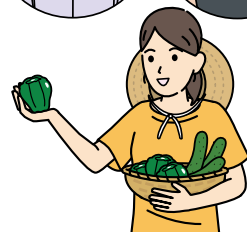
修・就農準備

を習得するための研修を受けます。

農塾、県総合農業試験場、先進農家で行われ、期間は1～2年程度です。^{※3}

経営内容や資金調達方法を考え、認定審査を受けます。(認定新規就農者)

の選定、農業機械・施設の確保^{※2}、資金計画、住宅の確保などの準備も



新規就農認定

「新規就農者」として認定を受けるこ
重助成金や補助金の申請がスムー
ます。認定を受けるためには、
年以内に青年等就農計画を作成
所に申請します。

は、市が定めた基準（所得や労
を満たし、達成見込みが確実で
が求められます。



STEP5 就農・就業

- ・準備が整ったら、いよいよ就農します。^{※4、5、6}
- ・就農後も地域との信頼関係を築きながら、栽培技術の向上や販路開拓に努めます。
- ・就農後も市や県、JAによるフォローアップを受けることができます。(技術指導、経営指導、研修など)
- ・農業者の仲間づくりのため、若手農業者団体に参加しましょう。



情報掲載時点：令和6年8月時点

助成期間等	条件など
研修先農家に対し1日11,000円、最長10日間	研修先農家が認定農家であること (三親等以内の親族不可)、 申請者は市在住又は見込みであること
賃借料1/2以内 ※ただし、各要件あり	新規就農者の期間内3年間、所得が原則600万円以下
150万円/年 最長2年	原則49歳以下、所得が原則600万円以下、 研修後1年以内に就農(独立・自営就農の場合)
150万円/年 最長3年	原則49歳以下、所得が原則600万円以下
事業費の3/4以内、補助限度額750万円 ※ただし、経営開始資金と併用の場合375万円	原則49歳以下、融資必須、就農開始2年度以内
借入限度額：3,700万円、 据置期間：5年以内、償還期間：17年以内	認定新規就農者であること

日南市の主な作物例

令和5年日南市農業の概要より



促成ピーマン

★就農後目指す一般的な経営規模 25a～35a

■促成ピーマンの反収・単価・戸数

反収(kg/10a)	13,019
単価(円/kg)	561
日南市の戸数	38

■10a当たりのおおよその売上・経費・所得

売上	730万円
経費	605万円
所得	125万円

主な施設・機械

ハウス、自動開閉、灌水、加温器、循環扇、動噴、トラック、など

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

収穫

定植

収穫



促成きゅうり

★就農後目指す一般的な経営規模 20a～30a

■促成きゅうりの反収・単価・戸数

反収(kg/10a)	15,532
単価(円/kg)	374
日南市の戸数	21

■10a当たりのおおよその売上・経費・所得

売上	580万円
経費	440万円
所得	140万円

主な施設・機械

ハウス、自動開閉、灌水、加温器、循環扇、動噴、トラック、など

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

収穫

定植

収穫



促成スイートピー

★就農後目指す一般的な経営規模 15a～20a

■促成スイートピーの反収・単価・戸数

反収(本/10a)	198,415
単価(円/本)	38
日南市の戸数	32

■10a当たりのおおよその売上・経費・所得

売上	750万円
経費	565万円
所得	185万円

主な施設・機械

ハウス、自動開閉装置、動力噴霧器、加湿器、循環扇、倉庫、納屋

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

収穫

定植

収穫



露地極早生温州みかん

★就農後目指す一般的な経営規模 他のかんきつ類と併せて3～4ha

■露地極早生温州の反収・単価・戸数

反収(kg/10a)	2,000
単価(円/kg)	265
日南市の戸数	247

■10a当たりのおおよその売上・経費・所得

売上	55万円
経費	45万円
所得	10万円

主な施設・機械

倉庫・納屋、トラック、動力噴霧器、粉碎機 など

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

剪定

収穫

就農相談窓口と支援の流れ

新規就農希望者

まずは、いずれかの所属に相談を！

県・農林
振興局

市

JA

関係者は情報を常に共有（就農希望、承継希望、青年農業者）

就農相談窓口

初回相談窓口で行うこと

- 基本情報の聞き取り（就農相談カルテの記入）
 - 就農相談会開催希望の確認
 - 情報共有
 - 第1回相談会の設定
- 日南市農政課農業振興係、
JA みやざき農業振興課、
JA みやざき融資保全課、
南那珂農林振興局地域支援課、
他必要部署



相談

研修

就農

第1回就農相談会

以降就農 相談会

- ・補助事業活用等の検討
 - ・融資活用等の検討
 - ・初期投資の把握
 - ・農地、ハウスの検討
 - ・就農前研修の調整
 - ・就農品目・就農地の決定親元、独立自営、雇用
就農形式の決定
- 数回実施

お試し就農

研修先 調整

研修先 登録

就農前研修 ※農家・実践塾

作付け 開始

就農計画策定検討

計画認定 ※認定新規就農者

融資計画策定 検討会開催

実行

農地・ハウス等の 探索

取得・賃貸

◎雇用就農を経由
するケースも有
※資金や経験の獲得

- 融資借入申込または融資申込
- 研修状況確認
- 就農準備資金申込
- 「支援のポイント」

- 開業届等
- 就農
- 各種事業申込
- 認定審査会

認定新規就農者（5年間）

伴走支援
巡回指導・講習会・研修会
コンサルタント等

栽培技術指導

経営管理指導

経営規模拡大支援

- 就農状況報告
- 開始資金活用者巡回
- 青色申告
- 計画達成
- 経営改善計画
（認定農業者）

相談

研修

就農

その他の支援

◎移住の制度に関する支援

日南市総合政策部未来創生課 0987-31-1128

◎移住・空き家探しに関する相談

itten ほりかわビル 2階 創客創人センター内
移住定住相談窓口 090-8355-3900
空き家相談窓口 090-9480-3456

◎子育てに関する支援

日南市健康福祉部こども課 0987-31-1131
福祉まるごと相談窓口 0987-31-1163

◎教育に関する支援

日南市教育委員会学校教育課 0987-31-1144



日南市へのアクセス



日南市の農業と主な施設等



就農に関するお問い合わせは

日南市農政課 〒887-8585 宮崎県日南市中央通一丁目1番地1

TEL:0987-31-1132 FAX:0987-24-0080 Mail:nogyo@city.nichinan.lg.jp

関係機関一覧

日南市農業委員会事務局 TEL:0987-31-1148

・農地全般の相談窓口関係

南那珂農林振興局農政水産企画課 TEL:0987-23-4312

・農業全般、特に補助金関係

南那珂農業改良普及センター TEL:0987-21-9550

・品目の試験や研究などの栽培技術に関係

JAみやざきはまゆう地区本部

農業振興課 TEL:0987-23-5155

・JA内の農業全般(青色申告相談)窓口

営農指導課 TEL:0987-23-5084

・栽培指導など

融資保全課 TEL:0987-23-5051

・融資相談など

公益社団法人宮崎県農業振興公社 TEL:0985-51-2011

・準備資金や承継相談など様々な支援関係



にちなんぢゃ様
(日南市観光イメージキャラクター)

